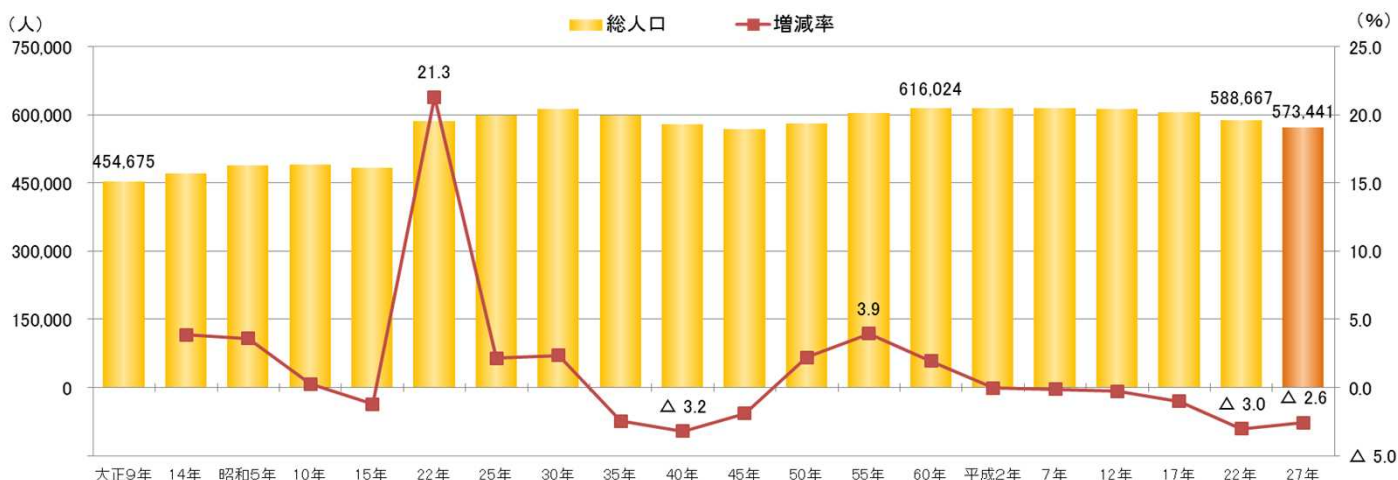


平成27年国勢調査でみる鳥取県

～鳥取県人口及び世帯数～

国勢調査は、我が国に住んでいるすべての人と世帯を対象とする国の最も重要な統計調査で、国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、5年ごとに行われています。

人口と人口増減率の推移



国勢調査による人口の推移をみると、戦後は増加傾向が続き、特に昭和22年は21.3%と急増しました。昭和30年から昭和45年にかけては、集団就職などの社会減による人口減少が続き、昭和40年には3.2%減と最大の減少幅となりました。昭和46年以降は、第二次ベビーブームによる出生の増加などもあり増加に転じ、昭和60年には最多の616,024人となりました。その後は減少傾向ながら60万人以上で推移しましたが、平成22年は昭和40年に次ぐ3.0%減で588,667人となり、59万人を下回りました。平成27年は573,441人となり更に減少しましたが、減少幅は2.6%減と縮小しました。

世帯数と世帯数増減率の推移



世帯数の推移をみると、昭和15年の1.4%減以外は、人口が減少した期間も含めて増加を続けており、大正9年の91,499世帯が平成27年には約2.4倍の216,894世帯となりました。この間の人口の増加が約1.3倍であることから、1世帯当たりの世帯人員も4.97人から2.64人に減少しています。また、平成27年の増減率は2.3%増で、平成22年の1.2%増に比べて増加幅が拡大しました。

(注) 昭和22年は戦後の人口等を明らかにすることを目的に実施された臨時国勢調査の数値。